

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

日置市長 永山 由高

市町村名 (市町村コード)	日置市 (46002)	
地域名 (地域内農業集落名)	吉利 (新町、天司、鬼丸、西山、柿の谷、田平、白井月、志賀、内門、片町、池上、小園、冷水、前屋敷)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年9月17日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

畑地帯基盤整備が進み、畑かん導入計画があり、条件整備が進んでいるが、甘藷、飼料作物中心の農業であり、畑かん導入後の営農類型を検討し、推進する必要がある。
 高齢化により、担い手が減少する中、担い手の確保、担い手の農地の集約が急務。

(2) 地域における農業の将来の在り方

甘藷、飼料作物等の土地利用型作物以外に、畑地帯を中心に水利用効果、収益性の高い園芸作物等の生産に取り組む。農地中間管理事業を積極的に活用し、スムーズな農地流動化を進める。
 スマート農業の導入等により、農作業の効率化による収益の向上を推進する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	167.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	166.7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手の高齢化が進む中、農地集積を推進するシステムづくりを行うため、吉利の耕作者で組織された「吉利アグリ未来会議」により、地域内の土地の情報を集約し、効率的に土地利用を進めるために、話し合いによる農地の流動化に取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手の経営意向を把握し、将来の集約化を目指し、出し手・受け手にかかわらず、原則として農地を農地中間管理事業に取り組む。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、排水対策や基盤整備の大区画化等を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域農業を支える多様な経営体の意向を踏まえながら、市、県及びJA等関係機関と連携し、担い手の確保と育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
作業の効率化を期待できる水稲防除等は、農業公社等への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①地域における電気柵等設置による侵入防止策の強化、放置果樹、潜み場等の除去による寄せ付けない取り組みや捕獲体制の構築連携に取り組む。
- ③ドローン等の活用により、効率的作業に取り組む。
- ⑦農地水及び中山間協定活動と連携し、農地の保全活動を行う。